スプレッドシート 統合セットアップマニュアル

1. 3つのシステム連携概要と2つのスプレッドシートの役割

大会の参加申請データは、プライバシー保護と閲覧性の両立のため**「受信元データ（非公開）」**と**「参加チーム一覧（参加者公開用）」**の2つのGoogleスプレッドシートに分けて運用します。

【データの流れ：アナライザ → 受信元 → チーム一覧表示】



ファイル名（テンプレート）	公開範囲	役割とシート構成
① 申請機能元データテンプレート （受信用GAS入）	**運営のみ（非公開）**	Webアプリから飛んでくる全27列（X ID・コスト内訳・証拠画像URL等）を1人1行で自動受信します。 シート：`ヘッダー情報` / `GAS設定`
② 参加チーム一覧テンプレート （Teamビュー用GAS入）	**参加者公開（閲覧のみ）**	①の元データから公開したい項目だけを抽出し、1チーム1行（メンバー1〜4横並び）に自動整形します。 シート：`Teamビュー` / `Team設定` / `GAS設定`

2. 大会開催ごとの事前準備（テンプレートのコピー）

⚠️ **重要：ダウンロードせずGoogleドライブ上で「コピーを作成」してください**
配布テンプレートをPCにダウンロードするとExcel形式（.xlsx）に変換されてしまい、GAS（プログラム）が動かなくなります。必ずブラウザでテンプレートを開き、以下の手順でマイドライブへコピーしてください。

1. 運営ポータルの配布リンクから2つのスプレッドシートを開きます。
2. それぞれの画面左上メニュー**「ファイル」＞「コピーを作成」**をクリックします。
3. ファイル名を大会名に変更して保存します（例：`第1回〇〇杯_申請元データ` と `第1回〇〇杯_参加チーム一覧`）。
4. ※Apps Script の設定作業は**PCブラウザでの操作を推奨**します（スマホアプリからはApps Scriptを開けません）。

3. 『① 申請機能元データ』のGASセットアップ手順

1. コピーした「申請元データ」スプレッドシートを開き、**「GAS設定」シート**にあるGASコード（または運営ポータルの「GASコードをコピー」で取得した最新コード）をすべてコピーします。
2. 上部メニューの**「拡張機能」＞「Apps Script」**を開き、エディタ内の既存コードをすべて消して貼り付け、保存アイコン（フロッピーマーク）を押します。
3. スプレッドシート画面に戻り、不要になった**「GAS設定」シートを削除**します（※本番データのシート名は「申請データ」または先頭シートのままにします）。
4. Apps Script 画面に戻り、右上の**「デプロイ」＞「新しいデプロイ」**をクリックします。
5. 種類の選択（歯車アイコン）から**「ウェブアプリ」**を選び、以下を設定して「デプロイ」を押します：

   ・次のユーザーとして実行：自分
   ・アクセスできるユーザー：全員（※ここを「全員」にしないと受信できません）

6. 「アクセスを承認」画面が出たら、ご自身のGoogleアカウントを選び、左下の「詳細」＞「〇〇（安全ではないページ）に移動」＞「許可」を押します。
7. 表示された**「ウェブアプリ URL」**をコピーし、本体システムの「GAS連携URL」欄へ貼り付けて大会を作成します。
8. **【必須】大会作成後に本体画面に表示される「専用GAS認証シークレット（SEC-...）」をコピーし、Apps Script 左メニューの「プロジェクトの設定（歯車）」＞「スクリプトプロパティ」に、プロパティ名 `GAS_SHARED_SECRET` として登録してください。**

4. 『② 参加チーム一覧（Teamビュー）』のセットアップ手順

1. コピーした「参加チーム一覧」スプレッドシートを開き、**「GAS設定」シート**のコードをすべてコピーします。
2. 上部メニューの**「拡張機能」＞「Apps Script」**を開き、コードを貼り付けて保存し、スプレッドシート側の**「GAS設定」シートを削除**します。
3. スプレッドシートを再読み込み（F5キー）すると、上部メニューに**「🔄 チーム一覧更新」**が追加されます。
4. **「Team設定」シート**を開き、元データとの紐付けと公開項目の設定を行います：

   ・元シートのURL（またはID）指定欄：手順3で作成した「① 申請元データ」スプレッドシートのURLを貼り付けます。

   ・公開項目の ○ ／ × 設定：各列の下にあるプルダウン（またはセル）で、参加者一覧に表示したい項目を `○`、非公開にしたい項目（X IDや本名など）を `×` に設定します。

5. 設定が終わったら、参加者に見せないよう**「Team設定」シートを右クリックして「シートを非表示」**にします。
6. 右上の緑色の**「共有」ボタン**から、一般的なアクセスを**「リンクを知っている全員」＞「閲覧者」**に変更し、そのURLを参加者に公開します。

5. 募集開始後のチーム一覧更新（手動更新 & 自動タイマー設定）

① ワンクリックで手動更新する方法

「参加チーム一覧」スプレッドシート上部メニューの**「🔄 チーム一覧更新」＞「▶️ 最新データを取得してTeamビューを更新」**をクリックすると、元データシートの最新エントリーが1チーム1行に整形されて即座に反映されます（初回実行時はGoogleアカウントのアクセス承認画面が表示されます）。

② 定期的に自動更新したい場合（トリガー設定）

Apps Script 画面左メニューの**「トリガー（目覚まし時計アイコン）」＞「トリガーを追加」**から、実行する関数に `updateTeamView`、イベントのソースに「時間主導型（例：15分おき・1時間おき）」を設定すると、運営が操作しなくても自動で一覧が最新化されます。

6. 公開前 最終チェックリスト（6項目）

- [ ] **[1]** 2つのテンプレートをExcelではなく「Googleスプレッドシート」としてコピー・リネームした
- [ ] **[2]** 元データシートのGASを「アクセスできるユーザー：全員」でウェブアプリ公開し、URLを本体アプリへ設定した
- [ ] **[3]** 元データ側のスクリプトプロパティに `GAS_SHARED_SECRET` を登録した
- [ ] **[4]** 本体アプリの「TEST」ボタンを押し、「疎通テストログ」シートへダミー1行が書き込まれることを確認した
- [ ] **[5]** 参加チーム一覧シートの「Team設定」で元データURLと公開項目（○／×）を設定し、シートを非表示にした
- [ ] **[6]** 元データシートは「非公開」、参加チーム一覧シートは「リンクを知っている全員が閲覧可」になっている